

## ～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- 光発電と併用で電池長持ち
- カレンダー・温度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「8RZ097」をお伝えください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12  
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**

受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。

(Y0906)

**安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)**

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

**■表示の説明について**

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。

 この表示は、「**死亡または重傷などを負う可能性が想定される**」内容です。

 この表示は、してはいけない「**禁止**」内容です。

 この表示は、「**傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される**」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「**強制**」内容です。

**■誤飲による事故防止について**

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。  
**分解禁止**

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。  
**注意**

**液晶表示板について**

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。  
**注意**

**■使用場所について**

 下記のような場所では使わないでください。  
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。  
**禁止**

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

**お手入れについて**

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

**時計の廃棄**

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

**おもな製品仕様**

使用温度範囲	-10～50℃ 液晶表示可読温度範囲0～40℃	表示の切り替え	12時間/24時間制表示切り替え時刻、日付表示位置切り替え
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差 ±30秒 (常温中のクォーツ精度)	アラーム	アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム音 電子音(鳴り方が変化) スヌーズ機能(止めてもまた鳴る) オートストップ(自動停止)
使用電池	リチウム電池 CR123A 1個	カレンダー	2007～2099年まで対応
光発電	アモルファスシリコンソーラーセル 屋内用	温度表示	表示範囲 -9.9～+50℃ 測定温度範囲での精度 ±2℃
電池寿命	光発電と電池併用で約6年 (200Lxで毎日8時間光発電した場合) 電池のみで約5年	照明機能	ライトボタンを押している間、液晶表示面を照明
標準電波	受信回数 1日2～3回 受信時刻 2:16:40、3:16:40、14:16:40 福島局/九州局自動選択 電波受信機能ON/OFF切り替え		※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。 ※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。 ※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
付属品	リチウム電池 1個 取扱説明書・保証書 本書		

GUARANTEE	
保証書	
※品名・型番	8RZ097
※保証期間	お買い上げ 年 月 日より 1年間
お客様	ご氏名 様
	ご住所
	TEL ( ) -
※販売店印(所在地、店名、電話番号)	

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万が一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。

- 部品の保有期間などアフターサービスについては、取扱説明書に記載してあります。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、時計の修理・調整に関するご連絡に利用させていただきます。

**■販売店の方へ**

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。 ※印は販売店記入

**保証について**

■次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

- 1.保証書のご提示がない場合。
- 2.保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
- 3.お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
- 4.お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
- 5.天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
- 6.お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
- 7.ご使用中に生じる外観上の変化(ケース、ガラスなどの小キズ)
- 8.電池の交換  
※ 送料・出張料は、実費をいただきます。

**アフターサービスについて**

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について  
この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について  
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合  
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

**A. 電源について**

- この時計は、明るいところでは光発電、暗いところではリチウム電池により駆動します。光発電を併用することにより、リチウム電池の寿命を長くしています。  
※毎日200Lxの明るさで8時間光発電すると電池寿命が約1年延びます。
- 光発電によりリチウム電池に充電をしませんので、暗いところで表示が薄くなったり、消えてしまう場合は、リチウム電池の交換が必要です。
  - 光発電に使用しているソーラーパネルは、屋内用ですので、直射日光を浴びると劣化して発電効率が悪くなる場合があります。
  - 必ず指定のリチウム電池を入れてご使用ください。

**電池のご注意 (電池の正しい使い方)****電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう**

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手が届かないところに置く。

**電池の種類について**

- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。

**取り扱いについて**

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
- 電池をショートさせない。
-  ●電池を充電しない。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

**液もれが起きてしまったとき**

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。  
 衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。  
ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

**電池の寿命について**

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態により電池寿命が短くなる場合があります。

**電池の廃棄**

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

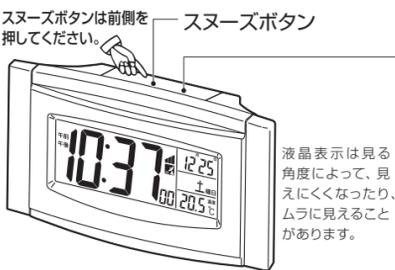
 火に入れると破裂の原因となり危険です。  
**注意**

**静電気の影響について**

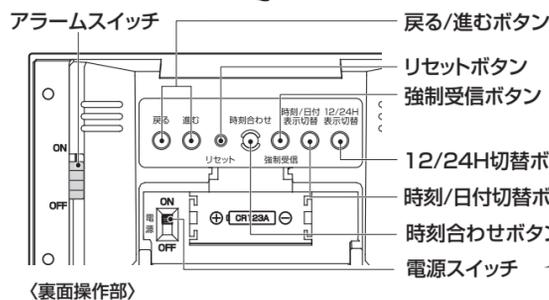
静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。  
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。



【参考】ソーラーセル 光が当たると発電します。影になったり、表面が汚れると発電効率が悪くなります。照度 環境の目安 150ルクス 一般的なリビング 300ルクス 明るいリビング内・オフィス 700ルクス 明るいオフィス ④寝室や窓のないところは十分な明るさが得られない場合があります。

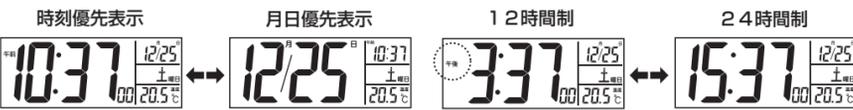


Q.電源スイッチをOFFにしても表示が消えない。回路内に電気が残っているためです。同じ理由により、リチウム電池を取り出してもしばらくの間は動き続けます。

アドバイス テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットボタンを押し、再度受信を試みてください。

## ④ 表示の切り替え

-1 時刻/日付優先表示切り替え ◆時刻/日付切替ボタンを押すと、時刻と日付の表示位置を切り替えることができます。



●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

## ⑤ 温度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。測定範囲を超えた場合の表示 温度:「HHH」50℃より高温「LLL」-9.9℃より低温 ④本製品は室内用ですので、室内の温度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度管理を行う用途には適していません。

## ⑥ 表示面の照明

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押している間、液晶表示面を照明します。

Q. 暗くなると表示が消えて止まる。リチウム電池が消耗したためです。リチウム電池を交換してください。▶▶「A. 電源について」参照

## ⑦ 電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく 一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。 ●場所を変える/受信をやり直す 電波の受信しやすい窓ぎわや、電波の送信所(取扱説明書の日本地図を参考)に、なるべく時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。

受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。 ■手動での時刻の合わせ方 (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。(2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。 ●進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。 ●進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。 ●時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。 ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。 ▶▶ ⑥ 電波受信機能のON/OFF操作 ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。 ※電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。

## ⑧ 電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる) リセットボタンを約1秒間隔で3回押しください。○「ピ」と鳴ったらすぐに押しください。○受信機能がOFFになると「ピ」と鳴りません。○年月日と時刻は手動で合わせてください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する) 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後に戻るボタンを離してください。○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

○操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。 ○工場出荷時の設定は、電波受信機能は有効(ON)になっています。

## ⑨ 強制受信とリセット操作

強制受信ボタン 場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。 ●受信機能が無効のときは、機能しません。 ●手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン 電源スイッチをONにした直後や静電気などにより誤作動したときに押します。リセット直後は、2007年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。 ●受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。

## 電波を受信しにくい環境

- つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。 ●工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所 ●金属製の雨戸やブラインドの近く ●ビルの地下など ●高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く ●朝夕の時間帯、雨天のとき ●家電製品やOA機器の近く ●スチール机等の金属製家具の上や近く

## 海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用するときには、電波受信機能を無効にして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信機能が有効になっていると、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

## 標準電波の送信停止について

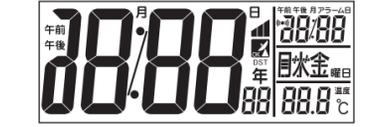
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

## 1 電波を受信して時刻を合わせる



電池を入れるときは、電源スイッチをOFFにして、電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて入れてください。⊕⊖を逆に入れると動きません。

## 【受信の流れと表示】(リセットボタンを押した直後)



※電源投入直後およびリセットボタンを押した直後は、2007年1月1日、午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

最長20分後(受信終了) 受信に成功すると受信マークが点灯



※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせるときには、⑦ 電波を受信できない場合の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

明るく電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- 1 電池ふたを開ける
  - 2 電池を入れる
  - 3 電源スイッチをONにする
  - 4 リセットボタンを押す 「ピ」と鳴って、受信マークが点滅し受信を開始します。
  - 5 電池ふたを閉じる
  - 6 受信開始から20分後に受信結果を確認する 受信には最長20分程度時間がかかります。受信マークで受信結果を確認してください。 →「受信の流れと表示」参照
- 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について 電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。

受信マークの変化 電波の状態により変化します。(電波サーチ機能)



チェック! 1~2分経過後にも①または②の受信状態が続く場合は受信できません。場所を変えてリセットボタンを押して、再度受信を開始させてください。

受信マーク消灯失敗!



※受信に失敗した場合は、表示されている日付/時刻は正しくありません。

## 2 アラーム機能の使い方

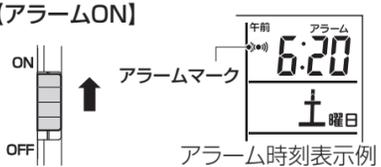
### アラーム時刻の合わせ方



◆午前/午後の表示に注意 表示されていない場合は、24時間制の表示です。

- 1 進むまたは戻るボタンを押す アラーム時刻が点滅します。
- 2 アラーム時刻を合わせる 戻るまたは進むボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
- 3 約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

### アラームのON/OFF設定



アラームスイッチ ON : 設定時刻にアラームが鳴る ○アラーム設定時刻を常時表示 「アラーム」の文字とアラームマーク表示 アラームスイッチ OFF : アラームを止める、鳴らさない ○月日または現在時刻を表示

### アラームオートストップ機能

鳴っているアラームを放置すると約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。

### スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(☾)が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(☾)は点灯表示になります。

### アラームご使用上の注意

オートストップまたはスヌーズ操作によりアラームマーク(☾)が点灯表示のときは、アラームスイッチはONのままですので翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

### アラーム音の確認方法

アラームスイッチをONにして、アラーム時刻を現在時刻より1~2分先に合わせてください。時間になるとアラームが鳴り出します。

## 電波時計について

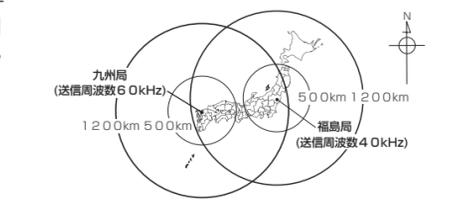
電波時計とは 電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

### 標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。 ※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。 標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。 ※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jijy.nict.go.jp)

### 電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。